

令和8年6月11日

## 法人企業景気予測調査

近畿管内 令和8年4～6月期調査結果概要（調査時点 令和8年5月15日）

## 1. 企業の景況

- 景況判断 BSI は、10 期連続の「下降」超。
- 大企業は「下降」超に転化、中堅企業は2 期連続の「下降」超、中小企業は18 期連続の「下降」超。
- 以前から続いている仕入価格の上昇や人手不足による工期延長の影響のほか、企業によっては中東情勢を要因とした更なるコスト上昇の影響の声も聞かれた。

## 景況判断 BSI (全規模・全産業) (単位は%ポイント)

過去調査		現状判断		見通し	
7年10～12月	8年1～3月	8年4～6月	8年7～9月	8年10～12月	
▲1.7	▲5.7	▲11.5	▲5.6	▲0.8	

(規模別)	
大企業	▲2.1
中堅企業	▲8.9
中小企業	▲20.3

(産業別)	
製造業	▲14.8
非製造業	▲9.1

(※) 景況判断 BSI は、前四半期と比較しての「上昇」-「下降」社数構成比。

## 製造業 ▲14.8%ポイント

鉄鋼、石油・石炭など、ほとんどの業種で「下降」超となっていることから、全体では「下降」超。

- 人手不足による建設工事の延期により受注が低迷している。また、鉄スクラップの仕入価格が上昇しており、販売価格への転嫁を進めたいが、取引先との交渉次第。(鉄鋼、大企業)
- 軽油価格の高騰による運送費上昇のほか、防錆油の価格上昇により利益圧迫。(鉄鋼、中小企業)
- エンジンオイルの原材料の調達はあるが、仕入価格が上昇している。なお、取引先への販売価格決定後にサーチャージの通知もあり価格転嫁が追いつかない。(石油・石炭、中小企業)
- 原材料の仕入が滞り製造に影響が生じていることから、代替材料への移行を検討しているものの、現行材料に適合した製造工程のためすぐには対応できない。(化学、中堅企業)
- スマートフォンなどのディスプレイ製造に必要なフォトマスクの受注がアジア圏で増加。(情報通信機械、大企業)
- AI 需要を背景にした半導体の検査装置の受注が好調。(電気機械、大企業)

## 非製造業 ▲9.1%ポイント

農林水産業などが「上昇」超となっているものの、建設、小売などが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超。

- 建設コストの上昇や人手不足などの影響で稼働している現場数が減少している。また、施工時に使用する錆止め塗料やシンナーが入手しづらく、今後の状況を懸念。(建設、中小企業)
- 配管工事に使う塩化ビニル管の仕入価格が上昇しており収益環境が悪化。(建設、中小企業)
- 衣料品の売上げが低調。物価高から消費者の財布の紐が固くなってきていると感じている。(小売、大企業)
- 紙の仕入価格が上昇し自社の紙製品の価格も引き上げるが、需要減少を懸念。(卸売、中堅企業)
- 中国人訪日客からの旅行手配の依頼は減少したが、積極的な営業が功を奏し、他地域の団体客からの依頼が増加。(生活関連サービス、中小企業)
- 燃料価格が上昇しているが、価格転嫁できている。(運輸・郵便、大企業)

## 2. 雇用

- 従業員数判断 BSI は、**60 期連続の「不足気味」超。(26.8%ポイント)**。
- 製造業は 24.3%ポイント、非製造業は 28.6%ポイントの「不足気味」超。

(※) 従業員数判断 BSI は、期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比。

### ✓雇用にかかる企業の声

#### 〈人手不足の状況〉

- ・ 施工管理者の不足により受注を見送っている案件が発生している。(建設、中堅企業)
- ・ 生産ラインの現場職で特に不足している。また、4月採用の募集では1名の応募もなかった。(窯業・土石、中小企業)
- ・ 不足する人手を派遣労働者で補っていたが、足下では計画通りに派遣労働者を確保できなくなっている。(輸送用機械、大企業)
- ・ 中途採用の確保には業界水準に相応する給与提示が必要となるが、現役社員との処遇差も鑑みて十分な条件を提示できず人材確保が難航している。(運輸・郵便、中小企業)

#### 〈人手不足に対する取組〉

- ・ 応募者や定着者を増やすため、本業にも活きる言語学習の定額制サービスを福利厚生として提供するほか、オフィスカジュアルを導入している。(宿泊・飲食サービス、中堅企業)
- ・ ハローワークでの募集に加え、大手企業を定年退職する有資格者を即戦力として確保している。(建設、中小企業)
- ・ 多品種少量生産のため効率化が難航しているところ、生産効率向上のための専門部署を創設し、組立てや検査の機械化を進めている。(業務用機械、中小企業)
- ・ 製造現場でオペレーターの感覚に頼っていた業務について、AIを用いたシステムで省人化を進めている。(金属製品、中小企業)
- ・ DX化によって業務改善を行い、事務・管理部門の人員配置の適正化が進んでいる。(卸売、大企業)

## 3. 売上高・経常利益 (対前年度比)

- ・ **8年度の売上高は、全産業で3.8%の増収見込み**  
製造業は、生産用機械、非鉄金属など、ほぼ全ての業種で増収となることから、全体では4.3%の増収見込み。  
非製造業は、卸売、建設などが増収となることから、全体では3.4%の増収見込み。
- ・ **8年度の経常利益は、全産業で▲15.7%の減益見込み**  
製造業は、輸送用機械、生産用機械などが減益となることから、全体では▲12.1%の減益見込み。  
非製造業は、建設、運輸・郵便など、ほとんどの業種で減益となることから、全体では▲18.6%の減益見込み。

## 4. 設備投資 (対前年度比)

- ・ **8年度は、全産業で19.6%の増加見込み**  
製造業は、鉄鋼、生産用機械などが前年度を上回っていることから、全体では17.2%の増加見込み。  
非製造業は、電気・ガス・水道、不動産などが前年度を上回っていることから、全体では20.9%の増加見込み。